

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会①（住民・地権者）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 23 日（月） 10：00～11：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 （敬称略）	区長会会長 計 5 人 長野市まちづくり推進課 係長 久保幸一、主査 今井憲昭 長野市商工振興課 係長 小林弘明 まちづくり長野 専務取締役 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺の裏側の駐車場を元の蓮池に戻してほしい。景観も良くなるし滞留時間も増える。 ・善光寺に来て仁王門を知らなかったという人もいる。中央通り方面に降りてこないのでは何のための善光寺か分からない。 ・善光寺を PR する意味で駅舎を仏閣型に戻すなど検討してはどうか。 ・観光バスで来た客を国道 406 号や昭和通りで降ろすのはどうか。 ・トイゴパーキングには観光バスが入らない。もう少し使い方を考えたほうが良かったのではないか。 <p>→（まち課）善光寺の表に駐車場が必要なのは認識している。一部を整備したが今後も増設を考えている。駅舎については、「長野駅善光寺口顔づくり事業」の一つとして検討していく。</p> <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の商店は夕方早い時間に閉まってしまう。歩いて魅力あるまちづくりにするのは難しい気がする。 ・観光バスの件は良く考えていただきたい。駐車場を蓮池に戻さなければ、善光寺は世界遺産になれないのではないか。 <p>（出席者 C）</p>

・駐車場の件は、善光寺に強くお願いしていかなければダメ。駐車場を収入源にしている。

(出席者D)

・善光寺は屋台を出すのにもお金を出さない。灯明まつりの寄付金も善光寺は応分の負担をすべき。善光寺は皆があつてこそあるという気になってほしい。

(出席者C)

・善光寺には6回来たが仁王門を初めて知った、という観光客に話を聞くと、いつも裏から入り真ん中まで来て戻って帰っていたという。善光寺事務局にもこの話をしたが、関係者の意識改革が必要。こういう会で動かすくらいのことやってほしい。

(出席者A)

・善光寺は町に対しては屋台を出してほしいというが、お金は出さないのが方針。

(出席者D)

・善光寺は金を出したくても出せない商店街の苦しさが分かっていない。

・弥栄神社は長野の文化であり、文化を守るために善光寺のあり方を考えてほしい。ただ会議をやるだけにしないで、こういう会議で結束して求めていくべき。

・トイゴパーキングは入り方が分かりづらい。この駐車場は善光寺まで歩かせるのに活かされているか。利用者の地元と観光客の割合など、必要な分析はしているか。

→(まち課)「歩いてもらいたいまち」と「歩きたくなるまち」との乖離がある。いかに歩きたくなるまちを作っていくか、公民一体となって取組んでいきたい。歩行者優先道路の社会実験もやっている。

(出席者A)

・歩行者優先道路についてだが、中央通りで歩行者天国をやっても、大きなイベントがないときは、まるで人が歩いていないときもある。

・GWのときもバスやタクシーを通したほうが人は出る。短い距離でもバスに乗る人はいるし、周りや横道から入るのは面倒くさいという人もいる。歩行者天国でセントラルスクウェアに入れなければ行かないという人もいる。

(出席者E)

・セントラルスクウェアに観光バスが止められれば歩くまちができるのではないかと。観光バスの発着所にする。

(出席者C)

・観光客は歩くといっても1キロが限度。せいぜい善光寺から昭和通りくらいまでである。

・今日は〇〇で来た、次回は××に行くというように、まちなかに魅力的なポイントをつくって、リピートできるまちづくりが必要。

(出席者A)

・小学校統廃合について、後町小は現在の6年生は20人いるからまだいいが、それ以下の学年は一学年7~8人で学校にならない。

(出席者C)

・善光寺には何回も来ているという人が多い。人を呼ぶ魅力はもっている。これを上手に使ってほしい。

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会②（商店会）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 23 日（月） 15：00～16：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 （敬称略）	商店会関係者 計 17 人 長野市まちづくり推進課 係長 久保幸一、主査 今井憲昭 長野市商工振興課 係長 小林弘明、主査 北原孝 まちづくり長野 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料は 9 月末に実施した各商店会へのヒアリング結果を反映したものなのか？ →（まち課）新規事業の提案については協議会で検討し、基本計画策定委員会の協議を経て反映するよう努めていく。 ・準会員と協力会員のどちらを求められているのか？準会員には自動的になるのか？ →（まちづくり長野）まずは協力会員になっていただき、わが街をどうするかからスタート。 <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店会単会でつくった事業計画は、基本計画の中に入っていきのか？単会で地道に積み上げたものは提案できないのか？ →（まちづくり長野）事業化できる計画は基本計画に入る。協議会でも随時提案を受け付け、策定委員会にあげていく。

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会③（建設・不動産・金融機関）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 24 日（火） 10：00～11：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 (敬称略)	建設、不動産、金融機関関係者 計 11 人 長野市まちづくり推進課 室長 横畷俊明、係長 久保幸一 まちづくり長野 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の意見は基本計画に反映されるのか。意見を言うだけでは虚しいものがある。 →（まちづくり長野）反映されるよう協議していく。 →（まち課）これから基本計画に盛り込む新規事業を検討していくので、提案をお願いしたい。 <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に数値目標を設けるとあるが、人口〇%とか、通行量〇%とか、どういう目標でいくのか？数値をいただくと具体的な事業提案がしやすい。 →（まち課）事業ごとの目標、全体の目標をそれぞれ設定することになると思う。今後、策定委員会の中でも検討される。 <p>（出席者 C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の範囲について、今までどのような意見が出ているか？資料を見ると現状の延長線上でしかないのではないか？ →（まち課）準工業地域への大規模集客施設の立地を抑制し、都市機能や小売業者が集積している商業・近隣商業地域を中心に中心市街地の活性化を図るという国の方針から、中御所の準工業地域と東口の住居地域を外すことを検討している。また一部には善光寺を入れるという意見もあり、現時点では、エリアの拡大、縮小のどちらともいえない。

(出席者C)

- ・ 中心市街地以外の計画との整合性をどのようにとるのか？例えば市立高校の建替えはもう決定してしまったが、街なかに学校をもってくるのか。そういった動きを踏まえて我々はどのようなことをすればいいか考える。
- ・ コミュニティ道路などは、今まで回遊性のある中心市街地ではなく郊外で実施している。市全体の施策とのバランスは悪い印象がある。あたらしい街づくりのなかではどうしていくか？
→ (まち課) 中心市街地に力を入れていくが、何が何でも中心市街地に戻れではなく、郊外での新たな大規模開発は抑制していくということ。郊外にも生活者はいるので、ある程度のバランスも考える必要はある。費用対効果をみて検討していく。

(出席者C)

- ・ エリア設定については、住居も加えてゾーニングするから、職住一体という考えも出てくる。商業地域に限定するのはどうか。
- ・ 郊外に住む人も中心市街地で公共サービスを楽しむためにも、現在の公共施設計画を中心市街地に盛り込むことを検討してもいいのではないか。既成概念にとらわれずに考えてもらいたい。皐月高校はもう少し検討しても良かったのでは。

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会④（まちづくり協議会、百貨店、スーパー）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 24 日（火） 15：00～16：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2階）
出席者 （敬称略）	商店会、流通関係者 計 9 人 長野市まちづくり推進課 係長 久保幸一、主査 高野毅 長野市商工振興課 主査 北原孝、 まちづくり長野 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の認定を受ければどの程度、補助金が出るのか？ ・民間主導でやるものにも出るのか？ ・これだけ広いエリアで全て事業が可能なのか？ <p>→（まち課）国支援策等について説明。</p>

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会⑤（観光、交通）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 25 日（水） 10：00～11：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 (敬称略)	観光、交通関係者 計 17 人 長野市まちづくり推進課 主査 高野毅、 長野市商工振興課 係長 小林弘明 まちづくり長野 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野駅から善光寺までを表参道と位置づけ、地元の人や長野駅に降り立つ観光客に、歴史や史跡で表参道を案内する活動を始めて 5 年になる。 ・本日参加されている西光寺、善光寺だけでなく十念寺、七福神関係のお寺等たくさんある。幅広く大勢の人がこういう会議に参加できるようにしてほしい。 ・善光寺さんあつての長野であり、中心市街地のエリアは善光寺を含めてやってほしい。 ・説明資料では、歩きたくなるまち、行ってみたくなるまち…など、私たちがやりたかったことが書いてあり嬉しく思う。長野の文化を誇りに思い大切にしながら後世に伝えていきたい。 <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をみると今にもお客が集まってくるような図に見えるが、実態は南石堂から信大の通りまで、県町通りには人がいない。住む人がいなくなった。 ・街で外灯が壊れていても区長さんも気づかない。また、いつの間にか空き家になっていて、その次には壊され駐車場になっている。人がいなくなり、まちを把握できなくなっている。そういう状況を担当の方は直視し実感されて取り組んでいただきたい。 <p>（出席者 C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、中央通りを歩いてたまたま耳に入った言葉だが、「前に来たときは、もっと人影多

かったね、今は歩いてないね」という声を後ろを歩いている旅行者が話していた。同じ言葉を数ヶ月で 2 回聞いた。我々は毎日の変化に気づかないが旅の人はたまに来るから感じる。

- ・昔はものすごい人数が中央通りを通っていた。今はバスで来て善光寺の横や後ろから入って仁王門も見ないで帰ってしまう。どうにかならないものか。

(出席者 D)

- ・日々、境内にいますが、特に秋は参拝者が多い。どれだけ人が多いか、ぜひ境内に来て実感してほしい。この方々がまちに出て行ったら長野のまちは素晴らしいなと思いながら毎日お客さんを見ている。
- ・耳の痛い話だが、観光客の話の話を聞くと長野の人たちは冷たいねという。駅に降りて善光寺さんはどこですかと尋ねてもちゃんと答えてくれないそうである。例えば京都などでは、近くの方は必ずお寺に詳しい。おいしい店も旅行者に親切に教えてくれるが長野にはそれがないという。
- ・「市民の人たちが自分のまちを好きにならなければ、コンベンションは成り立ちません」という札幌のコンベンション担当者の言葉が耳に残っている。そこから生まれたキャッチフレーズが「好きです札幌」。長野の人も長野のまちを好きになって自分たちで誇れるようになればもっと素晴らしいまちになる。
- ・法律に基づいた協議会も総花的。地に足をつけ実際の部分をどうしたらいいかということをも皆で考えていかないと…。住んでいる人たちの意見をもっと聞いて、本当にいいまちはどんなまちか、皆で考えて実践していくことが必要と思う。

(出席者 E)

- ・資料の中で、善光寺ブランドとあるのは市外、県外に発信していくと思うが、歩きたくなるまち、住みたくなるまち…は、誰に向けて発信していくのか？
→ (まち課) 市民の方、長野を訪れる方の両方に向けてのもの。

(出席者 A)

- ・最近、なぜ地元の人たちが中心市街地に出てきていないのか不思議に思う。地元の人が行かないまちに観光客が来るわけがないと感じる。まず地元の方が来るようにすることを考えるべきではないか。
- ・長野市には景観条例がないんですかと聞かれる。中央通り沿いに高層マンションが増えて、人が住むまちということを考えると仕方ないのかもしれないが、善光寺を一直線に見る景観がなくなり、いつまでこれが昔の中仙道です、一直線の表参道ですというご案内ができるかと思う。

(出席者 C)

- ・西光寺本堂の真後ろの建築物は、地域の人は反対していたのに、区長さんの判子をもらえたからと突然決まってしまった。

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会⑥（福祉、教育）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 27 日（金） 10：00～11：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 （敬称略）	福祉・教育関係者 計 14 人 長野市まちづくり推進課 係長 久保幸一、主査 高野毅 長野市商工振興課 主査 北原孝 まちづくり長野 専務取締役 塚田国之、タウンマネージャー 服部年明 " 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのワークショップは過去にいろいろと行われているが、話し合ったことを実際に都市計画に取り入れるのはうまくいっていない。それを実行するために何か考えないといけないと思う。 ・C I S という地理情報システムがあり、市民の意見や良い所、悪い所などを W e b 上で公表して、市民の皆さんにまちをこうしたいというのを伝えていくべきと思う。 <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、協議会設立についての説明に対して集まっている方が、どのようにお考えなのかをお聞きして、計画策定にも生かしていけたらと思い参加している。 <p>（出席者 C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで中心市街地活性化というと商業の活性化のことで福祉とは接点が薄かったと思う。今回いろいろな団体の参画を目指しておりいい方向に向かっている。情報を密接にしていくことが重要と思う。 ・コンパクトな中心市街地という方向はいいと思うが、中心市街地だけの福祉というわけにはいかない。山間地に困っているお年寄りがいれば、そちらにも力を入れていかなければいけない。

(出席者D)

- ・資料の都市福祉施設の整備とは具体的に何を想定しているのか？
→(まち課)学校、図書館、保育園、幼稚園、医療施設、高齢者関係施設など
- ・中心市街地には一人暮らしの高齢者が結構いる。そういう方への支援という意味で空き店舗を利用してボランティアの方に集まっていただき、一人暮らしの高齢者の情報交換の場とするなど、内から外へ目を向ける方策を考えることが必要。
- ・過日、長野市老人クラブ連合会の指導者研修会があつて30人くらい集まり、各地区で課題になっていること問題になっていることを出し合ってもらつた。ワークショップ形式で一人3枚くらい意見を書いてもらった。その中で深刻な問題とか、商店街との関わりもある課題も出た。そういう意見も参考にしていきたい。

(出席者E)

- ・長野市出身ではないが、県内の人間から見て、善光寺ブランドを核に据えながら、共倒れにならないようなブランドを築く必要があると思う。一方で善光寺さんの歴史があれば、もう一方で若い人を引きつけるモダンで斬新なものをどこかで付け加える必要がある。資料の一点通過型観光からの転換、とも関連するが、善光寺とは別の観点からのもの、若い人を引き付ける工夫を、今どういうところでやろうとしているのか。トイゴの建物は綺麗で表のフロアだけ見ていると原宿の表参道あたりに立っているかのような錯覚に陥るが、中に入り店舗を見ると、若いカップルの様子も見ているが、あそこは長時間持たない。時間がつぶせない。外に出て、どこに行くかとなったときに行く場所がなくなる。非常に惜しいなと感じている。

(出席者F)

- ・長野市は善光寺でもってきたまちだと思うが、県外から来た客は裏から入り裏から出て行く。今すぐとはいかなくても計画的に、例えば後町小あたりに駐車場をつくるなど善光寺の南側に駐車場をつくるように動いて中心市街地の活性化を図るべきできないか。

(出席者G)

- ・長野駅を降りてみても渋谷や大阪と変わらない。昔は仏閣型の駅舎で伝統を意識した雰囲気があったが、古くからの伝統がなくなっていくのがさみしい。いいものは残す必要があると感じる。
- ・通りに緑が少ない印象がある。歩行者のうるおいのスペースを考えないといけない。

(出席者H)

- ・皆さんの意見を聞いていて感じたことは、いつもまちづくりの関係の方の意見が主になっていたが、福祉、教育等のいろいろな分野の方の意見を知り、考えながらまちづくりをしていくことが重要だと思った。
- ・私は女性中心に多くの方と接しいろいろな話を聴く機会があるが、感じることは、市民に中心市街地に対する興味がないこと。ファミリーも郊外に行ったほうが楽し、いろいろなものが得られる。トイゴも出来たが、飛びつくときは飛びつくが、すぐに忘れ去られるといった長野市民の気質をうまく利用したなかで、中心市街地にいつも人が集まり、賑やかでうるおいのあるまちにしていかなければと常に感じている。

(出席者 I)

- ・ 駅から善光寺までの中央通りには薬局が何件かあるが、駐車場がないということで患者さんが離れ目も当てられない状態。また最近は医療機関が郊外に出ているので、お年寄りの家に薬を届けるといった仕事が増えてきている。すると駐車禁止区域が非常に増えて医療に協力する環境が難しくなったと感じている。
- ・ どうして駅から善光寺まで人を歩かせなくなったのか。手前で観光バスの人を降ろして歩かせるとか。長野には、笠原さん（笠原十兵衛薬局）のところの雲切目薬とかユニークな薬がたくさんあったが、段々なくなってしまった。郊外に住む人が増え、夜間人口が減り薬局の使命もなくなってきているのか。
- ・ 市内には緑が少ない。トイゴをつくったときに、大きな木を植えて木陰にベンチをおいて夏には人が涼んで集うという発想がどうしてなかったのか。

(出席者 J)

- ・ 会議は、できるだけ出席しやすい午後の開催をお願いしたい。中心市街地には医療機関が点在しているが活性化に役立つものが何なのか分かりかねる。

(出席者 I)

- ・ 大きな病院をつくれれば地域医療はいけるという発想が以前あったが、地域医療は開業医と病院がないと成り立たない。特に開業医の先生方を大事にしていかないと。医療村は一時、流行ったが、同じような診療科目が集まるのは地域の人にとってあまり良くない。内科があれば別の診療科目といった診療科目の均衡化が必要。
- ・ 東京の話だが、最近、開業医の先生が午前中は診療で午後は往診が主となっている。今まで病院に歩いてきていた患者さんたちが歩かなくなった。むしろ状態が悪くなっている。外に出て歩いて店に寄ったりして刺激を受けることがなくなり家にいるだけ。

(出席者 K)

- ・ 現況土地利用とまちづくりの方向の資料をみたが、長期的展望の中で抜本的にまちを変えようという魅力に乏しいと感じる。十数年前から話題となっている交通手段についても、変えようしているのかも分からない。小学校統廃合の問題も良い方法はないかといったことも含めていかないと…。資料は、現状の土地利用の中で無駄なスペースをうまく利用していこうくらいの理解しかできない。
- ・ 善光寺の観光客を対象として長野を考えることも大事だが、周辺の市民がどのくらい魅力をもっているのか。むしろ戸隠、鬼無里、須坂、中野などに住んでいる人が長野に行ってみたいと思わせるまちをどうするかを考えないと、人が長野へ来てくれないのではないかと思う。
- ・ 今どき商業活動はまちなかでは難しく、郊外への流出を引き止めるのも難しい。まちなかは、「モノ」を並べて売るという商売ではなくて、何かの「コト」を起こして、それを見に行く、参加するといった魅力をもってこないといけないのではないか。中心市街地は商業施設よりも文化、教養、娯楽を中心に考えて、何か分からないけど週末には長野のまちに行けば新しいものに触れられるといったことを考えていかないと活性化しないのではないか。

- ・まちづくりの方向性の資料は、従来の延長線上にしかみてとれない。こういう議論になると目先の話がすぐ先に出てしまう。もっと高い視点で議論してコンセプトをつくらなといけけない。目先の要望だけ聞いていると無難なまちにはなるが魅力的なまちにはならない。
- ・先ほどから緑が足りないという議論も出ているが、緑がほしいという要望もある中で、いらぬという人も現実にいる。市民一人ひとりが納得するような提案をしていかないといけけない。思いつきではなく議論して取り上げていかないと大きな誤算になる。

(出席者L)

- ・まず感じるのは、市民参加のまちづくりとよく言われるが、行政の方とか、まちづくりに実際に仕事に関わっている方の視点と市民の視点とはギャップがある。市民が参加するとなると、参加したら雰囲気楽しいとか、自分の意見が聞いてもらえるとか、その結果何かひとつ取り上げられたとか、取り上げた例があるとか、そういうことが参加につながっていくと思う。実際にまちづくりの企画運営している方や市の担当者からすると、法の問題とか、地主の問題とか、都市計画の問題とか言うが、市民は知らない。知らないで発言する。それは謙虚に受け止めていただかないと、実際に市民は参加しにくいし参加する効果もない。私もそういう会議に参加したことがあるが、発言すると、聞いてらっしゃる顔を見ると、そんなこと言ってもお前ダメだよ、という顔がありありと見える。年をしてくると人の顔もいくらか読めますので、そんなことを感じますね。皆さん方のように知識もないし他のまちも見ていないし、分からない中で発言するので相当ギャップがあると思う。変な言い方だが、もうちょっと市民レベルまで下げてもらって聞いてもらいたい。それが市民参加の道ではないかと思う。
- ・長野市のまちづくりには、ストーリー性がない。夢がない。例えば善光寺は全国的に有名だが、市民の方は老若男女を問わず歴史を知っているか。なぜ善光寺さんになったか、如是姫は何であるのか、道路にも歴史にちなんだ地名もあるが、市民でありながら知らない人が多い。小学校でも教えていない。家庭の中でも話題にならない。80歳、90歳の昔の人は知っているだろうが、40歳くらいの人には知らない。そういう人たちが現実に住んでいる。それで、まちづくりを考えろといってもなかなか難しい。例えば冊子をつくるとか、CDを作るとか、何らかの形でそういうものが分かるような地道な活動が必要だと思う。
- ・長野にはおいしいもの、これという特徴のあるものがない。長野にもたくさんいいものがあると思うが、ストーリー性がないから夢がもてない。おいしいというところまでいかない。食べてみれない。
- ・長野は若者の空間がないまちである。これからたくさんお年寄りが増えていき、お年寄りを相手にしたまちも必要だと思うが、これからを担う若い人たちの空間も必要。
- ・仕事で長野に来た人などたくさんいるが、アンケートをとるなど外から来た人に聞くことで、外からみた長野市を考えることも必要ではないか。

(出席者M)

- ・同世代は、他県に移って勉強する人が多いと思う。魅力ある教育機関があれば、僕らの

世代は長野県内、市内にくることも多いと思うし、若者が多ければ活性化にもつながるのではないかと思う。同世代を見ていると、楽しみたいけど遊ぶところがないとか、買い物に行くなら東京とか大阪とか、ここでは勉強することがないから東京に出るとか。自分は盛岡から来ているがそういう話をきく。そういう意味で教育機関の充実も活性化につながるのではないかと思う。

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会⑦（まちづくり団体）
議 事	①協議会の概要について（説明：協議会事務局） ②新長野市中心市街地活性化基本計画の検討経過について（説明：まちづくり推進課） ③意見交換など
日 時	平成 18 年 10 月 27 日（金） 18：00～20：00
場 所	長野商工会議所 会議室（2 階）
出席者 (敬称略)	まちづくり団体関係者 計 13 人 長野市まちづくり推進課 係長 久保幸一、主査 高野毅 長野市商工振興課 係長 小林弘明 まちづくり長野 専務取締役 塚田国之、タウンマネージャー 服部年明 " 経営管理室長 越原照夫、羽田稔
資 料	①会議次第 ②「長野市中心市街地活性化協議会」の設立について ③協力会員募集案内 ④新たな基本計画の策定について
内 容	<p>■出席者意見等（要旨）</p> <p>（出席者 A）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地に人を集めなければならない理由は何か？ ・ 空洞化が止まらなかった理由は何か？ →（まちづくり長野）まちづくり三法の背景等説明。 <p>（出席者 B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どれくらいの人が住めば活性化すると見込んでいるのか？ →（まち課）まちなか居住調査等について説明。目標人口等の設定は今後検討。 ・ 高齢化社会が進展するなかで、コンパクトシティにして高齢者こそまちなかへという方向かと思うが、第三ブロックは学生、若者をターゲットとしている。これは逆行してないか？若い人ほど郊外へという志向でいかないといけないのでは？ →（まち課）都会的雰囲気です駅前です便利なところなので、若者をターゲットとした提案となっているが、この世代だけのまちというわけではない。 ・ 便利で快適なまちだからお年寄りであって若者ではないのではないのか？ターゲット層を間違えるとまちづくりも進展しないのでは？ ・ 長野市の高齢化率は 25%を超えていて、大岡では 45%。日本の総人口の半分以上は 50 歳以上。そういうイメージのまちをつくっていかないと。

(出席者C)

- ・歩きたくなるまちとあるが、将来的に目標としてどのくらいの数値を考えているのか？
→(まち課)歩行者数等の目標数値を設定するが、今後の策定委員会で検討する予定。

(出席者D)

- ・新規事業提案は11月で終わってしまうのか？12月に入ったものに関しては4月提出の計画には間に合わないということか？
→(まち課)新規事業は随時協議会を通じて受け付けていくが、4月提出のスケジュールとして11月でとりあえず区切っている。

(出席者E)

- ・事業提案は年度ごとか？
→(まち課)年度ごとに行うのではなく、新事業が出れば随時、変更の申請を行う。ご提案は随時受け付けていく。
→(まちづくり長野)すぐに事業が出るものではないので、4月は今までの基本計画事業を主体として提出していくことになるのではないかと。新規事業が出てくれば肉付けしていく。

(出席者B)

- ・策定委員会の委員が途中で市民説明会を開くとか、ワークショップを行うとかは考えていないのか？後半のスケジュールにある意見募集はどのように行うか？
→(まち課)意見募集についてはホームページ、広報等で行っていく予定。
・行政の問題点として、ホームページを使えば情報公開してるとか、パブリックコメントを行えば市民の意見を聞きましたでは、かなり乱暴な計画づくりになってしまう。
→(まちづくり長野)そのために協議会がこういう場を設けているといえる。機会をできるだけ設けてご意見を聞いていく。

(出席者F)

- ・実際に今、計画されている内容がある程度分からないと、こういう場で意見をと言われてもなかなか出すのは難しいと感じる。

(出席者E)

- ・今後も皆さんが集まる場があるのか？
→(まちづくり長野)協議会としてご意見をいただく場は今後も設けていく。

(出席者D)

- ・個別プロジェクト検討会議について、あるプロジェクトの関係者として、検討会議に入りたいとか入らないとか言えるものなのか？また、総会というのは協議会の中でどういう位置づけなのか？
→(まちづくり長野)プロジェクト参加者については協議会が検討会議に参加して事業提案者とともに決め、運営会議にも諮り決定していく。総会は各事業者、会員間の情報共有、意見交換の場。